

No11.アセスメントシートの実施に向けて

仔鹿園 山口千佳

★昨年度までの取り組みについて

仔鹿園に通う子どもたちに合った独自のアセスメントシート(Ver1→Ver2)の作成と実施。

①チェックシート

領域	内容	項目	評価	備考
身辺自立	食事	提供された食材の大きさに食べることが出来る		
		スプーンに握ったりフォークに刺して置いておく口に運ぶ		
		スプーンやフォークで握って食べる		
		フォークで刺して食べる		
		箸を使って食べる		
		ストローで吸って飲む		
		コップで飲む		
		食事中は席を立たない		
排泄		布/パンツを履いて過ごす		
		定時の誘いかけで排尿をする		
		定時の誘いかけで排便をする		
		失敗した後で不快を感じる(小・大)		

②達成基準表

説明
【生活スキルチェックシート達成基準表(児童発達支援センター仔鹿園版)】 Ver.02
(身辺自立)「提供されたままの食材の大きさに食べることができる」 ⇒そのままの大きさに食べられれば可。ハサミで切ったり細かくして提供してあげば△。
「スプーンに握ったりフォークに刺して置いておく、口に運ぶ」 ⇒こぼさずに口に運べたら可。
「スプーンやフォークで握って食べる」 ⇒一人で握って食べられれば可。多少こぼしてもよい。介助皿を使用してもよい。
「フォークで刺して食べる」 ⇒自分で刺して食べられれば可。持ち方は自由。手を添えたりする場合は△。
「箸を使って食べる」 ⇒食材を挟んで食べられれば可。持ち方は自由。補助箸を使って食べられる場合は△。
「ストローで吸って飲む」 ⇒連続して3口以上飲めたら可。一口吸える程度であれば△。

③個別活動目標計画

令和	年度	個別活動目標計画	対象児氏名	担当者

★今年度の取り組み

アセスメントシートの実用化に向けて、改善点を見つけ、より良いものにしていくことを目的に取り組みました。

①昨年度アセスメントシートを使用し、見えてきた課題の検討

項目の文言が分かりにくい



使う目的を定めたい

などの意見が出る

②チェックシートと達成基準表を改良

項目の文章の見直し

「できる」という言葉は「する」に変更

内容の削除・追加

園内の様子をチェックするため、家庭での様子の内容は省く

領域	内容	No.	項目	評価	備考
身辺自立	食事	1	提供された食材の大きさに食べる		
		2	スプーンにすくったり、フォークに刺したりして置いておく口に運ぶ		
		3	スプーンですくって食べる		
		4	フォークで刺して食べる		
		5	箸を使って食べる		
		6	ストローで吸って飲む		
		7	コップで飲む		
		8	食事中は席を立たない		
排泄		9	定時の誘いかけで排尿をする		
		10	定時の誘いかけで排便をする		

アセスメントの目的の明確化

シートの見やすさの改良

達成基準表についても同じように内容の見直しを行った

③アセスメントシート(Ver3)を使ってみる



項目が絞られてチェックしやすくなった!



アセスメントシートを2~3年分使用できるようにしたい



個別活動目標計画に△の項目とスモールステップの目標を全て書き出す必要はあるか?

★決定事項★

☆チェックシート

- ・評価の記入の仕方を分かりやすくする為、〈○:する〉〈△:もう少し〉の2つに絞る
- ・備考欄を大きくするなど、シートの枠を使いやすく改良

☆個別活動目標計画

- ・評価が〈△〉の項目のみを書き出すシートに変更

☆アセスメントシートの使用時期・・・新年度・8月・年度末

現在、アセスメントシート(Ver4)を作成中!!

令和4年度4月から実施予定